

がん相談支援センターだより



兵庫県立丹波医療センター 令和6年度 (第16号) 発行 2024年10月

令和6年度ピア・サポーター養成研修が終了しました

令和6年8月24~25日にピア・サポーター養成研修(対面形式)が終了しました。 ピア・サポートとは、同じ体験をした仲間(ピア)が『体験を共有し、共に考える』事によ って相談者を支援していく活動のことを言います。そしてサポートを行おうとする人をピア・ サポーターと言います。がんと診断されて治癒経験がある方や現在治療中の人でも、体調が 良好で精神的に余裕がある状態であるならピア・サポーターになることが出来ます。

兵庫県ではがんピア・サポーターに必要な基礎知識を身につけるための研修を実施してい ます。今年度は26名の参加がありました。対面研修ではグループワークやロールプレイ、講 義から沢山の学びがありました。どの参加者も「勉強が出来て良かった。自分の体験を役立て たい」と感想を述べておられました。

がんと診断されたとき、治療を受けるとき、「他の人はどうやって乗り越えたんだろう」と 同じ病気になったことがある人からお話を聞きたいと思われる方 は多いのではないかと思います。もし、自分の体験を話しても良 いと思われる方がおられましたらピア・サポーター養成研修にご 参加ください。



がん相談支援センターをご利用ください

患者様からいただいたご意見をもとに、5月 からがん相談支援センターの入口を開放して います。利用者様から「以前より声がかけやす く相談しやすくなった」と感想をいただきま した。ご相談のある方はお気軽に声をかけて ください。



相談費用は無料

秘密は厳守いたします

電話相談も可能です。 「がん相談」とお伝え ください

開設日・時間:月~金(祝日を除く)9時~17時

連絡先 : 兵庫県立丹波医療センター がん相談支援センター TEL0795-88-5200(代表)

血栓症予防をはじめましょう!!



「血栓症」ってご存じでしょうか?血栓症とは、なんらかの原因で血管の中に血のかたまり(血栓)ができ、それによって血管がつまってしまう病気です。血栓ができやすくなる原因は血流、血液、血管のいずれかの異常です。3つの異常のうち複数が重なった時に生じやすくなります。血栓症は2種類あります。

1 つは動脈血栓症、もう 1 つは静脈血栓症です。動脈血栓症は脳梗塞や心筋梗塞といった病気を引き起こします。静脈血栓症は深部静脈血栓症、肺塞栓症を引き起こす血栓症です。がん患者さんは、静脈血栓症を発症する頻度が高く、がんの種類や進行度によって違いはあるものの、血栓症の発症率はがんではない方の 4 ~7 倍といわれています。静脈血栓症の主な原因は、長期の臥床や肥満、妊娠、下肢の麻痺、加齢などにより血流が停滞している場合やがん、手術、脱水など血液が固まりやすくなっている場合、また外傷や骨折、手術や中心静脈カテーテル、喫煙など静脈の壁が傷ついている場合などが挙げられます。

静脈血栓症の予防にはじっとしていないことが大切になります。長時間の同じ姿勢をさけ、下肢を積極的に動かし、血液を滞らせないようにしましょう。今回は静脈血 栓症を予防する、寝ながら、座りながらできる体操をご紹介したいと思います。



寝た状態で体操



つま先をゆっくり上げ下げします



片足ずつ膝を曲げ伸ばしします

座った状態で体操



座ったまま両足を揃え、つま先を 上げ、次にかかとを上げます。 これを交互に繰り返します。



座ったまま膝を高く上げます。 これを交互に繰り返します。

※お体の状態には個人差があります。体操をはじめられる際には、まず主治医にご相談ください。





〒669-3495 兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7 TEL: 0795-88-5200 (代)

兵庫県立丹波医療センター がん相談支援センター発行 監修:藤田 敏忠 編集:がん相談支援センター部会